



オンライン講座 地域と学校で取り組むSDGs

県内外のユネスコスクールの活動に深く関わってこられた安達仁美先生を講師にお迎えして、ESD(持続可能な開発のための教育)の理念やSDGs(持続可能な開発目標)を視野に入れた教育の新しい在り方について学びました。

SDGsの理念や今後の方向についての講義とワークにより、学校教育・社会教育の場で私たちが向かうべき方向について考える機会となりました。また、地域と学校が連携して活動している特色ある取組を学校と地域の双方から発表をお聞きし、意見交換を通じて、受講者それぞれのこれからの活動により具体的な指針を与えていただきました。(受講者数87人)

〈研修内容〉

【講義】「2030に向けたESD/SDGsの広がり」

講師 信州大学学術研究院 人文社会科学域教育学系 准教授 安達 仁美 氏

【事例発表】長野県白馬高等学校 「高校生の「やりたいこと」に伴走する地域と学校の取り組み」

飯田市南信濃公民館 「地域ぐるみで子どもを育むESD for SDGs
～小学校と公民館の連携～」

【ワークショップ】 (グループワーク形式)

テーマ「SDGs達成に向けて私達にできること」



受講者アンケートから

- SDGsについて理解を深められた。取り組まなければと感じた。(学校教職員 多数)
- 新しい視点でSDGsを見ることができるようになりました。一年に一回くらいは、こういったお話を聞きたいと思います。(学校教職員)
- 学校や地域が連携して未来へ向けての活動をしているのがとても素晴らしく、刺激を受けました。(市町村職員)
- 授業で子どもたちと一緒に見させていただきました。他地域がどんな取り組みをしているのか参考になりました。明日からまた子どもたちの地域のために考えていきたいです。(学校教職員)
- 学校・社協・地教委それぞれの立場で意見交換を行うことができた。職種が異なることで様々な角度から様々な方面への意見が伝え合えるのではないかと思います。(学校教職員)
- 初めは緊張しましたが、グループの皆さんが相槌してくれることで打ち解けられました。オンラインでもグループ学習が十分にできることを実感しました。(学校教職員)